

このまちが好きです

第2次八鹿地区地域まちづくり計画

(素案)

令和6年7月

八鹿地区自治協議会

目 次

はじめに

1 計画策定の趣旨

2 計画期間

3 将来像とスローガン

4 まちづくりの目標

(1) みんなで助け合おう

子どもからお年寄りまで、元気で幸せと感じる八鹿のまちをつくろう

(2) 住みよい環境をつくろう

安全・安心な八鹿のまちをつくろう

(3) 賑わいを取り戻そう

多くの人交流する八鹿のまちをつくろう

5 まちづくりの基本施策

(1) みんなで助け合おう

子どもからお年寄りまで、元気で幸せと感じる八鹿のまちをつくろう

ア 健康づくり

イ 福祉活動

ウ 教育・文化・人権

(2) 住みよい環境をつくろう

安全・安心な八鹿のまちをつくろう

ア 交通安全対策

イ 防災・防犯対策

ウ 環境対策

(3) 賑わいを取り戻そう

多くの人交流する八鹿のまちをつくろう

ア 産業・観光

イ 地域づくり

6 まとめ

<参考資料>

1 各行政区別の世帯数、人口、高齢化率等の現状

2 八鹿地区まちづくりアンケート集計結果

3 第2次まちづくり計画策定の経過

4 まちづくり計画策定委員名簿

はじめに

八鹿地区自治協議会は平成23年3月に設立し、13年が経過しました。

その間には、平成26年から10年間の地域まちづくり計画を策定し、八鹿地区の方向性を定め、まちづくりを行ってまいりました。

人口減少、少子高齢化、特にまちの中心部で空洞化が進むなど、この計画期間にしていた八鹿夏まつり及び八鹿地区大運動会も廃止となり、八鹿で住民が触れ合う機会が少くなるとともに、新型コロナウイルスの蔓延により、ここ数年コミュニティの醸成機会が失われたことは言うまでもありません。

今回、令和5年度で10年の地域まちづくり計画が満了するにあたり、新たな10年計画を策定することといたしました。

今回の計画は、社会情勢の変化を反映しながら、今後も引き続いて八鹿地区の住民の皆さんがいつでも笑顔で暮らせるまち、一人ひとり住み続けたいと感じるまちづくりを目指し前回の計画を継承しながら見直しをしております。

これからは、この計画に基づき元気なまちづくりを目指し八鹿地区自治協議会の活動を推進していきますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画策定にご尽力いただきました関係者の皆様、アンケート調査にご協力いただきました関係者各位、住民の皆様には衷心より感謝を申し上げます。

令和6年7月

八鹿地区自治協議会

会長 世登 清晴

1 計画策定の趣旨

私たちが暮らす八鹿地区は、明治から大正にかけて生糸産業を中心に目覚ましい発展を遂げ、現在の八鹿のまちを形作りました。さらに商業も発展を遂げまちなかでは商店街が形成され、「八鹿に行けば何でもある」とまで言われてきました。

昭和30年には八鹿町、高柳村、伊佐村及び宿南村が合併し新八鹿町ができ、平成16年には八鹿町、養父町、大屋町、関宮町が合併し養父市が発足、その中心的機能を八鹿地区が担ってきました。

第2次八鹿地区地域まちづくり計画では、これまでの10年間の地域まちづくり計画を継承し、今後10年間のまちづくりの指針となる計画を策定しました。

時代がどのように変化しようとも、この八鹿地区に住む私たちが住み続けたいと思えるような「地域まちづくり」を、私たち自身に取り組んでいくことを目指しています。

2 計画期間

計画期間は、令和6年度（2024年）から令和15年度（2033年）までの10年間とします。

短期計画	中期計画	長期計画
3年以内	6年以内	10年以内

※短期、中期、長期と分け、取り組む事業の実施・実行時期や期間の目安とします。

また早期に取り組む事業や中長期間にわたって継続する実施する事業など、事業の実施につきましては、様々なニーズや動向等を考慮して柔軟に取り組めます。

3 将来像とスローガン

将来像を

「いつまでもみんなが笑顔で暮らせるまち」とします。

将来像を達成するためには、

自分たちができることをまず実践する必要があるため、

スローガンを

「みんなで作ろう 私たちが住むまちを！」とします。

4 まちづくりの目標

(1) みんなで助け合おう

子どもからお年寄りまで、元気で幸せと感じる八鹿のまちをつくろう

(2) 住みよい環境をつくろう

安全・安心な八鹿のまちをつくろう

(3) 賑わいを取り戻そう

多くの人が交流する八鹿のまちをつくろう

5 まちづくりの基本施策

(1) みんなで助け合おう

ア 健康づくり

「自分の健康は、自分で守る。」という意識付けを行い、健康づくりのための支援を行います。

短期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 各地区で実施している「毎日元気にクラス」や「ラジオ体操」の継続と新規参加者の呼びかけを行います。○ スポーツクラブ 21 八鹿主催の大会や活動への参加促進を行います。○ 市スポーツ協会の活動を紹介し、個人やチームでの参加を呼びかけます。○ ウォーキングスタンプラリーを市の Y B ファブ・ナツフェスに参画し実施します。○ 体力測定会を年代別に実施するなど参加しやすい方法で開催します。○ 市民ドック、人間ドックなど定期的な健康診断の受診を啓発します。
中期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 健康アプリ (サルディほか) の活用や手軽にできる運動等を紹介します。(やっぷーポイント取得促進、朝倉城跡などの地域資源の場を巡るウォーキングコースの紹介)
長期計画	<ul style="list-style-type: none">○ ご近所や友人、仲間等とのつながりや地域活動等への参加によって、長期わたって社会的処方(※)の促進に取り組みます。

(※) 社会的処方：薬を処方することで患者さんの問題を解決するのではなく、「地域とのつながり」を処方することで問題を解決するというもの

イ 福祉活動

高齢者等が安心して暮らせる地域にするため、様々な世代が支え合いながら豊かに暮らしていける住みやすいまちづくりを進めます。

短期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「土曜ふれあい喫茶」を継続して行います。 ○ 各地区で行う身近な福祉や交流活動を紹介し意識啓発を促進します。 ○ 隣接する地区間で互いの活動への理解や協力しあう体制づくりを進めます。
中期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地区で行っている工夫ある特徴的な福祉活動などをふるさと通信やケーブルテレビ等で発信し八鹿地区全域に啓発します。
長期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ ご近所等とのつながりを通して「おたがいさま」という意識を醸成し啓発します。

ウ 教育・文化・人権

少子高齢化と核家族化により、3世代が同居しているいろいろな知恵を祖父母等から得られた時代から見てみると、文化等が継承されにくくなっています。子どもの健やかな成長には、周りの大人の援助や協力が必要であり、文化的な土壌が必要です。土地の文化や歴史を学び、伝統文化を歴代から引き継いでいくことが地域の発展にも欠かせないことです。

幸い八鹿地区には、こども園、小学校、中学校、高等学校及び看護専門学校の教育施設が充実しているため、連携しながら地域でできる支援は積極的に取り組んでいきます。

そして、地域の伝統行事、文化を保存し、次世代に継承していきます。

短期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ運動を推進します。 ○ 歴史や文化を学ぶ講座、教室等を開催し、シビックプライド(※)の醸成を図ります。 ○ 人権について正しい理解と認識を深めるための資料配布や啓発に努めます。 ○ 立誠舎を歴史や伝統を学び伝える場として、学生等が学びを实践できる場として活用します
中期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八鹿地区の歴史や文化を伝える建造物や行事を調査し、伝承事業等へ活用します。また、写真等も含めて展示します。 ○ 子どもの工作教室、伝承的な遊びや料理教室など幅広い年齢層が参加しやすいイベントを開催します。
長期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八鹿地区の歴史や文化を伝える建造物・伝統行事を調査し、写真等とともに後世に伝える冊子を作成します。(古い写真を所有する方から提供を募り、許可の上、データ化し歴史伝承の冊子作成等に活用します。)

(※) シビックプライド: 地域や自治体に対する住民の誇りや愛着、そして地域社会に貢献する意識

(2) 住みよい環境をつくろう

安全・安心な八鹿のまちをつくろう

ア 交通安全対策

八鹿地区内は、こども園から高等学校、看護専門学校まで教育の場が整っており、多くの児童・生徒や学生が通学しています。

安全・安心な通学路の確保は、地域住民誰もが望んでいます。安全・安心な通学路の確保を目指します。市民一人ひとりが、自分の生まれたまちでいつまでも安心して過ごせるような住みやすいまちづくりを進めます。

短期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 見守り活動は、今後も継続します。○ 指導看板など住民で設置可能なものは、関係機関と協議しながら設置します。○ 通学路を含めた生活道路の実態を調査し、安全・安心な対策を関係機関に要望します。特に、歩道の延長、外側線、グリーンベルト化、融雪装置など安全な通行の確保を関係機関へ要請します。
中・長期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 市街地内の通行規制については、議論を重ね望ましい方向を見つけ提案します。

イ 防災・防犯対策

防災対策は、養父市防災計画に準じて自分たちにできる対策を進めます。

また、犯罪を未然に防止し、誰もが安全に暮らし、安心して生活できる地域を目指します。

短期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 行政区ごとで、定期的に避難訓練等の防災訓練を行い、避難場所や避難経路の周知を図るとともに、改善が必要な場合は、改善のための取り組みを早期に行います。○ 緊急避難場所や避難通路の表示を進めます。特に第1次避難場所の明示および認識を高める取り組みを行います。○ 見守り活動は、防犯にも大きな効果があります。今後も継続して実施します。○ 防犯灯や交通安全のために道路照明の設置個所を増やすとともに、LEDへの切り替えを促進します。○ 八鹿の各地区が連携して行う防災訓練を勧めます。
------	---

中・長期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒が安心して通学できるようサポートします。 ○ 安全な街並みをつくるために、防犯カメラの設置を促進します。 ○ 空き家等の対応を検討していきます。
--------	---

ウ 環境対策

気持ち良く豊かに暮らせ、住み心地の良さを実感できるきれいな環境をつくれます。

短期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花のある街並みづくりを推進します。 ○ 円山川、八木川、小佐川をはじめ河川及び河川敷の環境美化に努めます。 ○ ゴミのないきれいなまちづくりを進めます。 ○ 危険樹木を除去するとともに、猪や鹿などの獣害を駆除するなど、安全・安心な環境をつくれます。
中期計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花のある美しい景観をつくるため、国・県の助成事業及び地元の農業高等学校など関係機関と連携しながら花いっぱい運動を展開します。

(3) 賑わいを取り戻そう

多くの人が交流する八鹿のまちをつくろう

ア 産業・観光

但馬で一番早い八鹿夏まつりが、警備対策費の大幅増大、事故への賠償責任問題、警備会社撤退等を踏まえ、令和4年度に廃止となりました。規模を縮小しても存続させてほしいという声もあります。区域内に新しくできたやぶ市民交流広場（YBファブ）を活用しながら、養父市全体の活性化を図らなければなりません。

今後も八鹿地区が中心となって関係機関と連携しながら地域産業の活性化に取り組めます。地域に住む人々が、おもてなしの心を大切にして交流人や観光客を呼び込むための取組を進めます。

短期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 買い物はできるだけ身近で行います。○ やぶ市民交流広場（YBファブ）等で行われるイベントに協力し、継続的にまちを盛り上げます。
中期計画	<ul style="list-style-type: none">○ まちの歴史的景観等をマップにまとめるとともに、ふるさと通信でも紹介します。○ 自治協議会施設を活用した物販等の販売を検討していきます。
長期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 旧養父郡酒造など八鹿のまちなかを活用した八鹿地区の活性化を図ります。○ まちなかの案内看板や説明看板を作製し、設置します。○ 八鹿の歴史的景観を回るツアーの企画を検討していきます。○ まちなかを活用したウォークラリーを開催します。

イ 地域づくり

人と人のつながりを大切にしながら、校区民が親睦を深め、コミュニティの活性化につながる取組を進めます。

短期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 地区の行事等を、ふるさと通信やSNS等を活用して紹介していきます。
中期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 地域の活動を支援するリーダーを育成するため研修会等を開催します。
長期計画	<ul style="list-style-type: none">○ 各地区や団体で行われている伝統行事の調査を行い、それをデータベース化し、保存とその活用を図ります。○ 街並みの保存と活用を図り、景観形成を進めます。○ 空き家、空き店舗及びやぶ市民交流広場（YBファブ）等を利用したコミュニティビジネスの手法を検討していきます。

資料編

【資料編目次】

- 1 各行政区別の世帯数、人口、高齢化率等の現状

現在、資料確認中につき未掲載

- 2 八鹿地区まちづくりアンケートと集計結果

- 3 第2次まちづくり計画策定の経過

- 4 まちづくり計画策定委員名簿

2 八鹿地区まちづくりアンケートと集計結果

アンケート調査ご協力ありがとうございました

令和4年4月に八鹿地区住民を対象にアンケート調査を行いましたところ、今回は大勢の方（今回70%、前回47%）からご回答をいただき誠にありがとうございました。アンケート調査はまちづくり計画の基礎となります。このアンケート調査を参考として本自治協議会の設立10周年を契機に原点に戻り、今後の自治協議会の活動について見直すために活かしていきたいと考えます。

なお、このアンケート調査集計結果の内容につきましては、すでに令和4年5月にふるさと通信の号外としてお知らせしています。

調査配布世帯	回収枚数	回収率
1,615世帯	1,143枚	70.7%

設問2 あなたの年齢は満何歳ですか

カテゴリ	(全体)%
④ 65歳～74歳	26.9
③ 50歳～64歳	26.0
⑤ 75歳以上	25.9
② 30歳～49歳	18.8
① 19歳～29歳	1.8
不明	0.6

設問3 性別はどちらですか

カテゴリ	(全体)%
① 男性	50.1
② 女性	48.7
不明	1.1

設問4 一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか

カテゴリ	(全体)%
③ 3～5人	40.7
② 2人	33.2
① 1人	19.4
④ 6人以上	5.4
不明	1.3



設問5 あなたは、八鹿地区に住んで何年ですか

カテゴリ	(全体)%
④ 21年以上	78.7
③ 11年～20年	9.0
① 5年以内	6.2
② 6年～10年	5.4
不明	0.7

設問6 八鹿地区での暮らしをどのように感じていますか

カテゴリ	(全体)%
② どちらかといえば住みやすい	54.7
① 住みやすい	29.7
③ どちらかといえば住みにくい	9.6
④ 住みにくい	2.4
不明	3.5

設問7 八鹿地区の暮らしで特に良いと思うところは何ですか

カテゴリ	(全体)%
① 自然環境に恵まれている	53.6
⑤ 買い物の便利が良い	47.6
⑦ 安全・安心な地域（防犯・防災）	35.0
⑩ 医療・福祉施設が整っている	33.2
⑭ 特に不便を感じない	32.0
⑥ ご近所とお付き合いがしやすい	28.6
⑨ 交通の便利が良い	19.0
⑪ 子育てがしやすい	11.9
⑫ 子供の保育・教育環境が良い	11.0
③ スポーツ・文化施設に恵まれている	10.1
② 住宅事情が良い	8.7
⑧ 働く場所がある	6.3
⑬ 地域の情報が得やすい	5.7
④ 歴史・文化の継承活動がある	4.6
⑮ その他	2.0
不明	4.7

設問8 暮らしの中で今後、自治協に取り組んでほしいと思うものを選んでください

カテゴリ	(全体)%
⑥ 公的医療機関の医師などの確保	45.4
③ 地滑りや洪水などの自然災害対策	30.0
⑧ 福祉サービスの充実	29.6
④ 猪や鹿、ヒルなどの有害鳥獣虫対策	28.1
② 身近なスーパーや商店の確保	27.6
① 犯罪や事故の防止対策	25.0
⑦ 公共交通機関の整備と道路の整備	22.6
⑤ 催しやイベントの活発化	16.5
⑨ 講座・教室を開設し生涯教育の充実	7.8
⑩ その他	3.1
不明	4.8

設問9 あなた自身や家族が高齢・障がい・病気・介護・子育てなどで困った時に
地域でどんなことをしてほしいですか

カテゴリ	(全体)%
② 家の周りの除雪や草取りやゴミだし	47.7
① 安否の声掛け	43.3
⑤ ちょっとした買い物	24.9
③ 病院・学校などの時の外出の手助け	22.6
④ 話し相手や相談相手	19.2
⑥ 家の掃除や片付け	9.4
⑧ 食事の世話	8.5
⑦ 短時間の子どもの預かり	7.4
⑨ 関わってほしくない	4.6
⑩ その他	2.7
不明	9.3



設問10 設問9のように近所に困っている家庭があった時、あなたができると
思えることは何ですか

カテゴリ	(全体)%
① 安否の声掛け	69.2
⑤ ちょっとした買い物	34.2
② 家の周りの除雪や草取りやゴミだし	33.2
④ 話し相手や相談相手	28.3
③ 病院・学校などの時の外出の手助け	12.2
⑨ できないことがない	9.4
⑥ 家の掃除や片付け	4.6
⑦ 短時間の子どもの預かり	3.8
⑩ その他	1.8
⑧ 食事の世話	1.7
不明	7.2

設問11 この先あなたが生活する上で不安なことは何ですか

カテゴリ	(全体)%
⑧ 自分の家族の健康・介護	48.2
⑦ 台風や洪水などの自然災害	36.7
④ 医療機関や医師が減って診察や入院がしにくくなる	30.7
① 身近な商店がなくなり買い物が不便になる	29.9
⑨ 交通手段がなくなり移動がしにくくなる	22.8
② 集落の機能が低下し地区等の行事ができなくなる	18.2
③ 後継ぎがいなくなり身近に話をしたり、相談できる人がいなくなる	13.6
⑩ 医療、介護、福祉などの利用について制度やサービスが分からない	12.5
⑥ 仕事や雇用の場がなくなる	12.0
⑤ 子どもの人数が減り近くに子どもや同級生が少なくなる	11.3
⑪ 趣味や文化活動ができなくなる	4.5
⑫ その他	2.0
不明	3.5

設問12 現在、空き家・空き店舗を所有されている方にお聞きます

カテゴリ	(全体)%
③ 解体したいが、解体費用の支出が困難で解体できない	3.5
① 現状のまま売却したい	2.8
⑤ 解体して更地になることで、固定資産税が上がるため、解体できない	2.4
⑦ 普段は利用していないが、年に数回利用するため、処分できない	2.0
② 賃貸で貸し出したい	1.3
⑥ 愛着があり処分できない	1.0
④ ③の場合で、解体して更地にしてもらえば土地代は無償で良い	0.6
⑨ その他	0.6
⑧ この問題で相談する相手がいない	0.5
不明	89.1

設問13 空き家・空き店舗を利用したい方にお聞きします

カテゴリ	(全体)%
① 修繕不要なら、買い取りしたい	1.7
③ 修繕不要なら、賃借したい	1.1
⑤ その他	0.8
② ある程度修繕費がかかっても、買い取りしたい	0.5
④ ある程度修繕費がかかっても賃借したい	0.4
不明	95.5

設問14 あなたは「八鹿地区自治協議会」を知っていますか

カテゴリ	(全体)%
① 知っている	78.2
② 知らない	18.1
不明	3.7

設問15 あなたは毎月養父市広報と一緒に各戸に配布されている自治協の広報誌「ふるさと通信」を読んだことがありますか

カテゴリ	(全体)%
② 時々読む	43.1
① いつも読む	42.5
③ 読んだことがない	8.8
④ 知らない	2.7
不明	2.8

設問16-1 あなたは地域活動に関心がありますか

カテゴリ	(全体)%
② 関心はあるがあまり参加していない	32.1
③ 関心はないが、付き合いで参加している	29.1
① 関心があり、積極的に参加している	21.8
④ 関心はないし、関わりたいとも思わない	7.7
不明	9.3

設問16-2 設問16-1で、②と答えた方の理由

カテゴリ	(全体)%
① 仕事などで時間的に余裕がない	52.6
⑤ 体力的に難しい	33.0
③ 人間関係が面倒そう	15.5
⑥ 自分が役に立つか不安	14.4
④ 知り合いがいない	8.2
⑦ その他	6.3
② お金がかかりそう	1.6
不明	2.5

設問16-2 設問16-1で、③と答えた方の理由

カテゴリ	(全体)%
③ 活動には関心がないが、地域の人との付き合いは大事にしたい	81.1
② 周りの目が気になる	17.7
④ 人に頼まれた、すすめられた	11.1
① 時間があるから何となく	5.4
⑤ その他	2.7
不明	2.7

設問16-2 設問16-1で、①と答えた方の理由

カテゴリ	(全体)%
② 何かの役に立てる	65.1
③ 知り合いや仲間が増える	51.8
① やりがいがある楽しい	16.5
④ 時間に余裕がある	16.5
⑤ その他	8.8
不明	0.0

設問16-2 設問16-1で、④と答えた方の理由

カテゴリ	(全体)%
① 興味がない	40.9
② 時間的に余裕がない	35.2
⑤ 体力的に自信がない	33.0
③ 人間関係が不安	22.7
⑥ 地域活動に意義を感じない	17.0
④ 自由な意見が言えなさそう	10.2
⑦ その他	8.0
不明	4.5

中学生と高校生の回答です

回答者はどちらですか(中学生/高校生)

カテゴリ	(全体)%
① 中学生	53.6
② 高校生	45.1
不明	1.3



回答者はどちらですか(男性/女性)

カテゴリ	(全体)%
① 男性	49.0
② 女性	39.9
不明	11.1

将来の生活について、あなたの思いを聞かせてください。

カテゴリ	(全体)%
⑦ まだ、わからない	54.2
④ 市外へ出たいが、いずれは帰ってきたい	15.7
③ 養父市外へ出て生活したい	8.5
⑥ 働く場所があれば、八鹿地区で生活したい	6.5
① 八鹿地区で生活したい	5.2
⑤ 市外へ出たら帰るつもりはない	5.2
② 養父市内で生活したい	3.3
不明	1.3

住んでいるところへの愛着は

カテゴリ	(全体)%
② 愛着がある	45.8
③ どちらとも言えない	26.8
① とても愛着がある	14.4
④ 愛着がない	4.6
不明	8.5

3 第2次まちづくり計画策定の経過

平成26年3月の地域まちづくり計画策定から10年が経過するにあたり、新たな計画を策定することになりました。そのため八鹿地区自治協議会は、令和6年1月に地域まちづくり計画策定委員会を立ち上げました。

計画策定委員として、22地区より各区1名（区長若しくは区長推薦委員）および自治協議会より有識者2名を選出しました。

その後、選出された委員24名により計画策定作業に入りました。また、途中で年度替わりで区長が交代になることが予測されましたが、委員会による計画案ができあがるまでは現委員として継続することも確認されました。

令和4年4月には、住民アンケートを実施しました。回収率は70.7%でした。

委員会では、4つのグループ（分科会）に分かれてテーマ別に議論を進め、延べ11回の委員会を開催いたしました。

この間には、養父市地域担当チームの皆さんにも参加いただき、記録やアドバイスなど計画策定に向けて協力していただきました。

第4グループ（自治協議会三役会）と地域担当チームによる検討会を開催し、テーマ別4グループでの協議の内容やアンケート調査の結果及び養父市まちづくり計画の内容などを踏まえながら検討を行い、その後、5月に地域まちづくり計画策定委員会グループリーダー・サブリーダー合同会議において素案としてまとめました。

途中経過報告として、その素案の内容を八鹿地区自治協議会総会に提案しました。

4 八鹿地区自治協議会 地域まちづくり計画策定委員名簿

(令和6年1月27日)

NO.	地区名等	氏名		備考
1	駅前	小谷 明代	区長	
2	大森	西岡 学	区長	
3	諏訪町	西谷 一成	区長	
4	下町	渋谷 謙三	区長	
5	宮町	津崎 智之	区長推薦委員	
6	仲町	高井 徹	区長(副会長)	自治協議会副会長
7	新町	沖田 好弘	区長推薦委員	
8	元町	山根 直人	区長	
9	旭町	谷 教之	区長推薦委員	
10	栄町	伍上 正人	区長推薦委員	
11	一部	山根 政之	区長(会長)	自治協議会副会長
12	小山	濱 良賀津	区長(会計)	自治協議会副会長
13	朝倉	東 佳見	区長	
14	京口	林田 富喜男	区長	
15	天子	木下 茂	区長	
16	扇町	藤田 達雄	区長(副会長)	自治協議会副会長
17	下網場	長島 孝弘	区長	
18	上網場	草下 信幸	区長	
19	舞狂	谷垣 秋博	区長	
20	九鹿	林 恭弘	区長推薦委員	
21	幸陽	藤井 勝	区長推薦委員	
22	岡	長岡 良治	区長	
23	自治協議会	世登 清晴	有識者	自治協議会会長
24	自治協議会	小橋 千代子	有識者	自治協議会副会長

事務局	廣瀬 正明		自治協議会事務局長
〃	吉谷 美也子		自治協議会事務局員

	氏名	所属	備考
養父市地域担当チーム	才木 哲郎	やぶくらし・地方創生課	リーダー
〃	満田 理恵	農林振興課	サブリーダー
〃	東 宏樹	農地政策課	チーム員
〃	寺田 美恵	健康医療課	チーム員

※この名簿は、令和6年1月27日の策定委員会設立時の名簿です。